

各 位

平成 14年 4月 1日

会 社 名 三井化学株式会社
コード番号 4183
問合せ先 総務部部長補佐
川田礼三
TEL (03) 3592 - 4105

業績予想の修正に関するお知らせ

最近の業績の動向等を踏まえ、平成 13年 11月 19日の中間決算発表時に公表した業績予想を下記のとおり修正します。

記

1. 14年 3月期通期業績予想数値の修正（平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 11月 19日 発表)	620,000	26,000	25,000	11,000
今回修正予想(B)	590,000	25,000	24,000	9,000
増減額(B - A)	30,000	1,000	1,000	2,000
増減率	4.8%	3.8%	4.0%	18.2%
前期(平成13年 3月期)実績	681,122	40,421	39,511	12,578

2. 14年 3月期連結通期業績予想数値の修正（平成 13年 4月 1日 ~ 平成 14年 3月 31日）

(単位：百万円、%)

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益
前回発表予想(A) (平成 13年 11月 19日 発表)	1,000,000	50,000	42,000	13,000
今回修正予想(B)	950,000	43,000	37,000	7,000
増減額(B - A)	50,000	7,000	5,000	6,000
増減率	5.0%	14.0%	11.9%	46.2%
前期(平成13年 3月期)実績	939,782	54,512	49,067	17,068

3. 理 由

営業利益及び経常利益につきましては、中間決算発表時の公表値に対し小幅な減益に止まっておりますが、上場株式の評価減（単独・連結共に上期 40 億円、下期 58 億円、年間 98 億円）に伴う特別損失の増加により、当期純利益が単独 18%・連結 46%のそれぞれ減益となる見込みです。

なお、売上高・営業利益・経常利益の状況につきましては以下のとおりです。

[売上高]

石油化学・基礎化学品事業につきましては、ナフサ価格の下落に伴う売上高の減少の他に、主に高純度テレフタル酸及びフェノール系製品の市況低迷により、減収となる見込みです。

機能性材料事業につきましては、ウレタン原料の市況低迷及び半導体材料を始めとした I T 関連分野向けの販売数量減少により、減収となる見込みです。

[営業利益・経常利益]

単独業績につきましては、市況悪化に伴う減益要因があるものの、合理化等の収益改善対策によりカバーして、ほぼ中間決算発表時に公表した損益水準に落ち着く見込みです。

連結業績につきましては、ウレタン原料の市況低迷等により、減益となる見込みです。